

新庄市総合戦略の検証

新庄市総合政策課

— 目 次 —

1. 総合戦略におけるプランの全体像	3
2. 新庄市総合戦略の効果検証	4
3. 効果検証の方法	4
4. 効果検証結果	4
5. 総合戦略 達成度一覧 (H30 年度実績)	5
I. ふるさと定住促進プラン	
基本目標1 あらゆる分野で、魅力ある「しごと」を創出する◇	
施策① 企業の誘致と支援	7
施策② 産業振興	8
施策③ 人材育成	9
施策④ 就労・起業支援	9
基本目標2 ふるさとへの誇りを育むとともに、魅力を発信する	
施策① 郷土愛の育成	10
施策② ふるさと回帰の促進	11
施策③ 交流の促進	11
基本目標3 社会全体で結婚・出産・育児・教育を応援し、 未来の「しんじょう人」を育む	
施策① 働き方・子育て方改革	13
施策② 安心して子どもを産み育むことができる環境の整備	14
施策③ 結婚活動支援	15
施策④ 結婚や子育てに対するプラスイメージの醸成	16
II. 幸せと元気のまちづくり推進プラン	
基本目標1 雪に対する不安を払拭するとともに、雪と共に暮らすまちをつくる	
施策① 冬期間の市民生活の確保	17
施策② 雪と暮らすライフスタイルの推進	18
基本目標2 誰もが健康に長生きできる社会を目指す	
施策① 健康づくりの推進	18
施策② 医療体制の充実	20
基本目標3 市民が豊かさを感じ、安心して住み続けられる地域づくりをおこなう	
施策① 地域コミュニティの充実	20
施策② 広域連携の推進	21
【巻末 資料】新庄市総合戦略 達成度一覧	22

1. 総合戦略におけるプランの全体像
【プランの全体像】

笑顔輝くまち 新庄

I.ふるさと定住促進
プラン

《基本目標1》

あらゆる分野で、
魅力ある「しごと」を創出する

《数値目標》

新規就業者数（全分野）：年間200人増
H26 年間910人 ⇒ H31 1,110人

《基本目標2》

ふるさとへの誇りを育むとともに、
魅力を発信する

《数値目標》

社会移動の差の減少
H26 年間▲229人 ⇒ H31 0人

《基本目標3》

社会全体で結婚・出産・育児・教育を応援し、
未来の「しんじょう人」を生き育む

《数値目標》

出生数の増加：年間30人増
H26 300人 ⇒ H31 330人
合計特殊出生率の向上
H25 1.72 ⇒ H31 2.07
年間婚姻数の増加
H25 171組 ⇒ H31 200組

II.幸せと元気の
まちづくり推進プラン

《基本目標1》

雪に対する不安を払拭するとともに、
雪と共に暮らすまちをつくる

《数値目標》

市民アンケート回答者のうち、『雪』を
理由に他市町村へ「転出したい・転出する
予定」と答えた人の割合
H27 13.1% ⇒ H31 5%

《基本目標2》

誰もが健康で長生きできる社会を目指す

《数値目標》

65歳以上の介護認定率
H26 18.48% ⇒ H31 15%

《基本目標3》

市民が豊かさを感じ、安心して住み
続けられる地域づくりをおこなう

《数値目標》

市民アンケート「地域を支える人材が
育成されている」と答えた人の割合
H27 11.5% ⇒ H31 30%

2. 新庄市総合戦略の効果検証

新庄市総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」及び国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本市における人口減少の克服とまちの活性化を進め、市民の誰もが幸せに暮らし続けることができる、「笑顔輝くまち 新庄」の実現に向けた目標や具体的な施策、取組をまとめた計画（計画期間：平成27年度～平成31年度(令和元年度)）として策定し、「ふるさと定住促進プラン」、「幸せと元気のまちづくり推進プラン」により構成されています。

計画期間が平成31年度(令和元年度)までとなっていることから、令和2年度以降の次期総合戦略の策定に向けて検討を行うことが必要になります。

平成30年度時点において、効果検証を行い、現時点で把握できる問題点や課題点等について洗い出しを行い、次期総合戦略の策定に反映させていきます。

3. 効果検証の方法

効果検証は、新庄市総合戦略の2つのプラン毎の基本目標に紐づく17の施策単位で分析を行います。検証方法は、施策ごとに設定された指標をもとに分析を行います。

< 目標指標の達成度の設定 >

施策ごとの検証を行うにあたり、目標指標の達成度を端的かつ客観的に把握するため、指標ごとの達成状況に応じて以下のとおり区分することとします。目標指標及び平成31年度に達成すべき目標値については、平成26年度の新庄市総合戦略策定時に設定された指標とします。

指標	内 容
◎	目標指標における直近の実績値が目標値の100%以上
○	目標指標における直近の実績値が目標値の70%以上100%未満
△	目標指標における直近の実績値が目標値の50%以上70%未満
×	目標指標における直近の実績値が目標値の50%未満

4. 効果検証の結果

新庄市総合本戦略では、2つのプランに6つの基本目標を設定し、その下に17の施策が設定されています。下表は、施策に紐づく合計44件の目標指標について、達成度に応じ区分したものになります。

内訳として、実績値が、目標値を超えている指標が10件（22.73%）、目標値の70%以上100%未満が16件（36.36%）、目標値の50%以上70%未満が11件（25.00%）、目標値の50%未満が7件（15.91%）となっています。

5. 総合戦略 達成度一覧 (平成30年度実績)

(巻末資料 参照)

I. ふるさと定住促進プラン

(上段：目標指標の数(件)、下段：施策に占める達成度ごとの割合(%))

基本目標	施策	◎	○	△	×	計
1. あらゆる分野で、魅力ある「しごと」を創出する	①企業の誘致と支援	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 100%
	②産業振興	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100%
	③人材育成	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100%
	④就労・起業支援	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 100%
	基本目標 計(件)	4	6	0	0	10
	基本目標 計(%)	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	100%
2. ふるさとへの誇りを育むとともに、魅力を発信する	①郷土愛の育成	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100%
	②ふるさと回帰の促進	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100%
	③交流の促進	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	4 100%
	基本目標 計(件)	2	3	0	2	7
	基本目標 計(%)	28.6%	42.9%	0.0%	28.6%	100%
3. 社会全体で結婚・出産・育児・教育を応援し、未来の「しんじょう人」を生き育む	①働き方、子育て方改革	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	3 100%
	②安心して子どもを産み育むことができる環境の整備	0 0.0%	0 0.0%	3 100.0%	0 0.0%	3 100%
	③結婚活動支援	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	2 100%
	④結婚や子育てに対するプラスイメージの醸成	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100%
	基本目標 計(件)	2	0	5	2	9
	基本目標 計(%)	22.2%	0.0%	55.6%	22.2%	100%
基本目標 小計(件)		8	9	5	4	26
基本目標 小計(%)		30.77%	34.62%	19.23%	15.38%	100%

Ⅱ. 幸せと元気のまちづくり促進プラン

(上段：目標指標の数(件)、下段：施策に占める達成度ごとの割合(%))

基本目標	施策	◎	○	△	×	計
1. 雪に対する不安を払拭するとともに、雪と共に暮らすまちをつくる	①冬期間の市民生活の確保	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100%
	②雪と暮らすライフスタイルの推進	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	3 100%
	基本目標小計(件)	1	1	2	1	5
	基本目標小計(%)	20.0%	20.0%	40.0%	20.0%	100%
2. 誰もが健康で長生きできる社会を目指す	①健康づくりの推進	0 0.0%	5 55.6%	3 33.3%	1 11.1%	9 100%
	②医療体制の充実	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100%
	基本目標小計(件)	0	6	3	1	10
	基本目標小計(%)	0.0%	60.0%	30.0%	10.0%	100%
3. 市民が豊かさを感じ、安心して住み続けられる地域づくりをおこなう	①地域コミュニティの充実	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100%
	②広域連携の推進	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100%
	基本目標小計(件)	1	0	1	1	3
	基本目標小計(%)	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	100%
基本目標 小計(件)		2	7	6	3	18
基本目標 小計(%)		11.11%	38.89%	33.33%	16.67%	100%

	◎	○	△	×	合計
基本目標合計(件)	10	16	11	7	44
基本目標合計(%)	22.73%	36.36%	25.00%	15.91%	100%

I. ふるさと定住促進プラン

雇用の創出により地域を支える人材を確保する場をつくることで、人口、特に若年層の転出を抑制するとともに、地域の情報や魅力を効果的に発信して新庄への人の流れをつくることで転入促進につなげます。また、市民が安心して子どもを生み、育てられ、次代を担う子どもたちが地域に愛着を持って健やかに成長できるような環境を整備することで、出生数の増加を目指します。

基本目標 1 あらゆる分野で、魅力ある「しごと」を創出する

魅力ある「しごと」を創出することは、地域に「ひと」を呼び込み、地域の活力と持続可能性を生み、この地域で安定して暮らしていくために必要不可欠な要素です。特に若年層をターゲットとした魅力ある「しごと」の創出のために、量的な充足とともに質の向上を図ります。

施策①：企業の誘致と支援

〈基本方針〉 新たな雇用の場を創出するため、企業誘致を推進するとともに、既存の企業に対する経営安定化に向けた支援を充実します。

〈取組み〉 ○市内への企業誘致の更なる促進と新規立地企業への支援

○既存企業に対する支援の充実

○商工業者の販路拡大事業への支援

現時点までの成果	<p>【工業団地における操業企業数】</p> <ul style="list-style-type: none">・工業団地の新規分譲及び撤退企業の遊休地の売買が進んだことにより企業数は若干増加している。 <p>【工業団地における従業員数（正社員数）】</p> <ul style="list-style-type: none">・主に工業団地内企業の企業数増、それに伴う設備投資の増加により、従業員数も増加しつつある。 <p>【製造品出荷額】</p> <ul style="list-style-type: none">・自動車関連製造業を中心に製造業企業の業績堅調により出荷額がほぼ目標額に到達している。
今後の課題	<p>【工業団地における操業企業数】</p> <ul style="list-style-type: none">・未分譲用地は残り 2 区画、民有遊休地は全て解消されたが、既立地企業による買い増しが多く企業数はさほど増えておらず、これ以上の増加も難しい。 <p>【工業団地における従業員数（正社員数）】</p> <ul style="list-style-type: none">・全国的な企業の人材確保難であり、市内企業も業種を問わずこの問題に苦慮している状況である。 <p>【製造品出荷額】</p> <ul style="list-style-type: none">・企業の人材不足の問題が、今後の出荷額増加のボトルネックであると考えられる。

課題解決の方向性	<p>【工業団地における操業企業数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな工業用地整備の検討が必要である。 <p>【工業団地における従業員数（正社員数）】</p> <p>【製造品出荷額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の地元定着・回帰に向けた取組みの強化を検討。
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策②：産業振興

〈基本方針〉 本市の基幹産業である農業については、収益性の高い部門の育成・強化に加え、加工と販売を組み合わせた6次産業化の取組を促し、農業所得の向上を目指します。

また、商工業の振興、特に中心市街地における商業機能の維持と活性化を図ります。

〈取組み〉 ○畜産・果樹・園芸の振興

○6次産業化の推進

○まちなかの空き店舗への出店支援

○新たな産業創出のための金融支援

現時点までの成果	<p>【市振興作物である園芸作物（9品目）販売額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にら・ねぎを中心とした露地野菜の集出荷体制の確立による生産面積が増加している。 <p>【産直・加工販売団体数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや実践経験の場を提供した結果、40～50歳代の実践者が生まれた。 <p>【卸・小売業での従業員数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年時点で目標を達成している。
今後の課題	<p>【市振興作物である園芸作物（9品目）販売額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸作物の伸び悩みが見受けられる。 <p>【産直・加工販売団体数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長年加工に取組んだ方々が高齢化によってリタイヤしていることで数値が伸びない。 <p>【卸・小売業での従業員数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存店舗の廃業等が増加しており従業者数にも影響することが予想される。
課題解決の方向性	<p>【市振興作物である園芸作物（9品目）販売額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農協合併による広域連携した集出荷体制によって、市場評価が高まり、今後、トマト、きゅうりといったハウス栽培も増加する見込みであるため、市内での実践農家への支援を図る。 <p>【産直・加工販売団体数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAなどの組織力が低下している中、現代の需要に沿った若手実践者の掘起こしが必要である。 <p>【卸・小売業での従業員数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地等の店舗廃業増加への対策として創業支援と事業承継支援により一層取組む必要がある。

施策③：人材育成

〈基本方針〉 各産業の事業後継者や企業が必要としている知識や技術を習得した優秀な人材を育て、若年労働者の地元定着を目指します。

- 〈取組み〉 ○農業の担い手の育成・確保
 ○若年労働者確保のための人材育成制度の拡充
 ○除雪オペレーター等地域に必要な人材の確保
 ○地元高卒者を対象とした奨学金制度の拡充
 ○看護師養成機関の設置検討

現時点までの成果	【新規就農者数の増加（5年間累計）】 ・年間の数値目標には達していないが、補助事業（農業次世代人材投資事業）を活用することにより一定程度の新規就業者を確保し、成果を上げている。
今後の課題	【新規就農者数の増加（5年間累計）】 ・多様な人材の多様なニーズに合わせた就農計画の作成支援や就農後の定着支援の強化が必要である。
課題解決の方向性	【新規就農者数】 ・就農相談から就農後のフォローアップまで、関係機関が連携した総合的な支援体制の構築が必要である。

施策④：就労・起業支援

〈基本方針〉 就労・労働に関する支援を充実するとともに、起業しやすい環境づくりを進めます。

- 〈取組み〉 ○就職支援セミナーや合同説明会の開催
 ○まちなかの空き店舗への出店支援（再掲）

現時点までの成果	【新規高卒就職者のうち地元（新庄・最上）に就職した者の割合】 ・近年、採用の地域間競争が激しく、新規高卒者の就職先は県外が減少、県内他地域が増加、新庄最上管内は横ばいが続いており、目標達成が厳しい状況である。 【正社員の新規求人数（年間）】 ・工業団地内の企業数増加等の状況を背景として、新規求人数も目標値以上に増加した。 【商業地域の空き店舗への出店件数（5年間累計）】 ・市と商工会議所の連携による創業者支援、市の空き店舗補助金等の施策により出店できた。
今後の課題	【新規高卒就職者のうち地元（新庄・最上）に就職した者の割合】 ・若年層への地元企業情報の発信強化並びに企業の魅力向上、経営力向上が必要である。 【正社員の新規求人数（年間）】 ・全国的な問題である企業の人材不足への対応が課題である。

	<p>【商業地域の空き店舗への出店件数（5年間累計）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規出店者は増加しているが、既存店舗の廃業等がそれ以上に増えている。
課題解決の方向性	<p>【新規高卒就職者のうち地元（新庄・最上）に就職した者の割合】</p> <p>【正社員の新規求人数（年間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の地元定着・回帰に向けた取組みの強化が必要。 <p>【商業地域の空き店舗への出店件数（5年間累計）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地等の店舗廃業増加への対策として創業支援と事業承継支援により一層取組む必要がある。

基本目標 2 ふるさとへの誇りを育むとともに、魅力を発信する

新庄市人口ビジョンにもあるように、人口減少の流れを決定づけているのは、大学進学等に伴う顕著な若年層の人口流出とその後の人口の回帰率の低さです。本市への「人の流れ」を変えることで転出抑制、転入促進を目指します。

施策①：郷土愛の育成

〈基本方針〉 地域の資源を活かした教育などを通じて、子どもたちを中心に郷土愛を醸成し、いつまでもこの地域で住み続けたいと思う人を増やします。

〈取組み〉 ○子どもたちが地域の自然や文化に触れる機会を増やす取組みの推進

○地域住民の教育への参加促進

○地域の特性を活かした教育の推進

○小中高生の地元就職に対する意識の醸成

現時点までの成果	<p>【「地域に愛着を持っている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の成果として、概ね横ばいで推移している。 <p>【「地域の行事に参加している」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、まつりなどの地域の行事に対する興味は高かったが、特に、ユネスコ無形文化遺産となった新庄まつりへの参加意欲は高い。その他学校における地域活動としては、ボランティア活動等積極的に参加している。
今後の課題	<p>【「地域に愛着を持っている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛を子どもたちに育むために、地域住民の意識の醸成が必要であると思われる。 <p>【「地域の行事に参加している」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生の地域におけるクラブ活動や中学生の部活動、また行事等も多いため、児童生徒に参加意欲はあっても参加できない状況が現状としてある。

課題解決の方向性	<p>【「地域に愛着を持っている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちがこの地域で住み続けたいと思うように、教育関係事業の取組を継続していく。 <p>【「地域の行事に参加している」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習などで地域の方と交流できる学習活動を仕組む。 ・参加しやすい日程や行事内容の工夫など、学校と地域の更なる連携を図り参加しやすい体制を整えていく。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策②：ふるさと回帰の促進

- 〈基本方針〉 ふるさと回帰に向けた総合的な環境整備を進め、本市出身の若者のUターンを促進します。その他市外からの移住希望者に対して、仕事、住まい、子育て、教育、文化など、暮らしに必要な情報を提供します。
- 〈取組み〉
- 地元高卒者を対象とした奨学金制度の拡充（再掲）
 - UJIターン者に対する住宅取得・就労支援の充実
 - 地域おこし協力隊への支援強化

現時点までの成果	<p>【相談や支援事業を通じてUJIターンした人（5年間累計）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村窓口での相談を経ずにUJIターンした人がいる可能性があるものの、これまで実績がない。
今後の課題	<p>【相談や支援事業を通じてUJIターンした人（5年間累計）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周知不足
課題解決の方向性	<p>【相談や支援事業を通じてUJIターンした人（5年間累計）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市やJOINといった移住に特化したホームページを積極的に活用し、県などと連携し、移住・定住への相談窓口の存在を広く周知する。 ・東京圏での移住相談会を開催していく。

施策③：交流の促進

- 〈基本方針〉 新庄まつりをはじめとする歴史・文化、自然や食などの地域の観光資源の魅力を発信し、多様な交流を広めていきます。
- 〈取組み〉
- 新庄まつりを中心とした様々な祭りやイベントを通じた交流人口の拡大
 - 食や自然等の資源を活かした広域観光の推進
 - インバウンド（外国人観光客）の誘客推進
 - ご当地キャラクターによるまちの活性化

現時点までの成果	<p>【年間観光客数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PR広告を出したり、案内を充実させたりなど情報発信・PRを実施してきた。市のみではなく官民一体となって取り組みを展開し、成果を上げていると思われる。
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>【新庄まつり観光客数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度からは50万人前後で推移している。開催曜日の関係もあるが、人数は天候に左右される。近年は最上地域観光協議会とも共同でPRし、成果を得ている。 <p>【ふるさと応援隊会員数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新年交流会の開催や広報紙の配布等により目標を上回る隊員数となっている。 <p>【市内への外国人旅行者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーション等の効果が現れ徐々に、KPIの数値目標を達成することができた。今後も増加が見込まれる。
<p>今後の課題</p>	<p>【年間観光客数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新庄まつりだけではなく、通年を通じた各種イベントの魅力の増進や新たなイベントの開発、地域資源の磨き出しなど、さらなるレベルアップが必要である。また、広域観光の取り組みとして、様々な地域との連携を模索していく必要がある。 <p>【新庄まつり観光客数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年以降は平日開催となる為、来場者の減少が予測される。また、以前から25日本まつりのアビエス観覧席の販売状況が芳しくない。 <p>【ふるさと応援隊会員数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を維持していくとともに東京新庄会の機能拡充や若手の隊員数の増加にも力を入れていく必要がある。 <p>【市内への外国人旅行者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのプロモーションをより広域的なものとし、更に受入環境の整備にも力を入れていく必要がある。
<p>課題解決の方向性</p>	<p>【年間観光客数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の旅行者に向けた本市に関わるイベント・行事について、更なるPRのためのツールを活用し、周知を図る。 ・最上地域はもとより、鉄道でつながった県内外の地域とは情報のやり取りを強化していく。 <p>【新庄まつり観光客数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前より首都圏へのPRを多くしてきたが、仙台圏などの隣県の地域へのPRを増やす。 ・最上地域観光協議会との連携により、最上地域の宿泊先及び観光地と連携して誘客を目指す。 ・アビエス観覧席への誘客を図るため、新たな仕掛けを構築する。 <p>【ふるさと応援隊会員数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各中学校単位での同窓会等への呼びかけを実施していくなど、より多くの年代の参加を呼びかけ、ふるさとの魅力発信を進める。

	<p>【市内への外国人旅行者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行社と共に他地域と連携した旅行コースの設定、構築を継続する。 ・地域一体となった体制整備の確立を図ることによって、民間にも波及し、地域経済の活性化を図る。
--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

基本目標 3 社会全体で結婚・出産・育児・教育を応援し、
未来の「しんじょう人」を育む

抜本的な人口減少対策には、人口の自然動態の改善が必要です。将来を担う「しんじょう人」を生き育てることは、まちづくりの根底をなすものであるため、若い世代の結婚・出産・育児・教育の希望が実現する社会を目指します。

施策①：働き方・子育て方改革

〈基本方針〉 核家族化が進み、両親共働きの家庭が多い中、仕事と子育ての両立ができる地域の実現を目指し、子育てしやすい社会や職場環境の整備を進めます。

〈取組み〉 ○子育てに対する社会の意識の醸成
○ワーク・ライフ・バランスの推進

現時点までの成果	<p>【優秀(ダイヤモンド)企業認定数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要件を満たす企業に対しての奨励金交付や、先進企業の取組を市報で広く周知したことにより、認定数の増加が図られた。 <p>【実践(ゴールド)企業認定数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践企業の認定数は目標値の50%に留まるものの、実践企業より上位の優秀企業へランクアップする企業が複数あり、子育て応援企業全体としては認定数の増加が図られた。 <p>【「子育てしながら働くことができる」と答えた割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の回答率は、目標値には届かずに概ね横ばいが続いている。「子育てしながら働くことができる」と感じる市民が少ない状況となった。
今後の課題	<p>【優秀(ダイヤモンド)企業認定数】</p> <p>【実践(ゴールド)企業認定数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業側の努力とともに、市でも広報等で周知を行ったことにより、着実に子育て応援企業は増加している。市独自支援として奨励金の交付をしているものの周知が行き届いていない部分もある。 <p>【「子育てしながら働くことができる」と答えた割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事と家庭の両立ができる多様な働き方が可能な環境が整備されていない。

	<p>要である。</p> <p>【「子育ての相談、支援体制が充実している」と答えた割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多岐にわたる子育て支援施策が浸透していない。 ・安心して相談できる相手や窓口を広く周知する必要がある。
課題解決の方向性	<p>【「わらすこ広場」の年間利用者のうち、市民の利用数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料の無料化や遊具の更新により、平成29年度並みの利用者26,000人を目指していく。 <p>【「学校教育が充実している」と答えた割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の推進を図り、探究型学習を通して授業改善をしていく。 ・9年間を通して児童生徒理解を深め、心の教育を推進して自己実現を図ることができるようにする。 ・配慮を要する児童生徒への支援のために必要な支援員の配置を検討していく。 ・職場と家庭の両方で子育てに対する意識の醸成が必要である。 <p>【「子育ての相談、支援体制が充実している」と答えた割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSでの情報発信や広報など周知を広げていく。 ・支援体制の維持と継続的な周知を図っていく。

施策③：結婚活動支援

〈基本方針〉 最上地域全体で未婚者の出会いの機会を創出します。また、未婚者のスキルアップなども含め、地域全体での結婚活動支援に向けた取組を充実します。

〈取組〉 ○出会いの機会の創出

○各種スキルアップセミナーの開催等の婚活者向け支援の拡充

現時点までの成果	<p>【イベントにおける年間カップル成立数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最上広域婚活実行委員会のイベントが大規模型から小規模型へ移行していることに伴い、全体のカップル成立数は減少している。しかし、イベントをきっかけとした出会いから成婚に繋がった事例もあり、出会いの機会の提供につながった。 <p>【結婚活動支援事業に取り組む市民団体数 累計増加数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚活動支援事業に取り組む市民活動団体は0である一方、未婚者の家族や結婚支援に関心のある方に向けたセミナーの開催を通じ、支援者となり得る人材の掘り起こしができた。
今後の課題	<p>【イベントにおける年間カップル成立数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活パーティーなどの出会いイベントでは、男性に比較して女性の参加が少ない。女性の参加を促す取組が不足している。 <p>【結婚活動支援事業に取り組む市民団体数 累計増加数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体への働きかけが行えていない。

課題解決の方向性	<p>【イベントにおける年間カップル成立数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚活動に対して専門的な知見を持つ民間事業者を含めた各種団体とも連携しながら、最上広域婚活実行委員会として出会いの場の創出を図る。 <p>【結婚活動支援事業に取り組む市民団体数 累計増加数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民活動団体を支援する中間支援組織に向けて、結婚活動支援事業を展開する際に活用できる県などの助成金情報を提供していく。
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策④：結婚や子育てに対するプラスイメージの醸成

〈基本方針〉 子どもや若年層を中心に、結婚や子育てに対するプラスイメージを醸成します。

〈取組み〉 ○県と連携した結婚

○子育てに対するポジティブキャンペーンの推進

現時点までの成果	<p>【将来の理想とする子どもの数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報誌（y e l l）を発行するなど、新庄市での結婚・子育てすることの良さを発信することで、結婚等に対するプラスイメージの醸成は図られた。
今後の課題	<p>【将来の理想とする子どもの数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚や子育てに対する価値観の多様化が進んでいる中、特定の価値観の押しつけにならないよう配慮しつつ、若者世代の結婚に対する抵抗感や不安を払しょくする取組みが必要である。
課題解決の方向性	<p>【将来の理想とする子どもの数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚・子育てポジティブキャンペーンは令和元年度で終了となるが、市報などを通じて結婚に関する情報提供を継続して行っていく。

II. 幸せと元気のまちづくり推進プラン

雪対策や健康で充実した生活を送ることができる仕組みづくりを進め、市民、特に高齢者が元気に暮らすことのできるまちづくりを行います。また、地域内の人と人のつながりを強めるとともに、人口減少社会の中でも互いに支え合う、活力のあるまちをつくることを目指します。

基本目標1 雪に対する不安を払拭するとともに、雪と共に暮らすまちをつくる

本市における雪の問題は最重要課題の一つです。冬期間の安全性と快適性を高め、冬でも快適に暮らせるよう取組を推進します。

施策①：冬期間の市民生活の確保

〈基本方針〉 市民と一体となった除排雪システムの確立や道路除排雪体制の強化、流雪溝の整備などを実施します。

〈取組み〉 ○冬期間の生活支援

○高齢者や身体障がい者等に対する除雪の支援

○生活道路の除排雪や流雪溝の整備促進等の冬期間の利便性の向上

現時点までの成果	【「除雪、排雪体制が整備されている」と答えた人の割合】 ・施策の成果として、横ばいから上昇傾向にある。 【流雪溝利用組合数】 ・目標とする18団体の6割程度に留まっているものの、地域の理解を得たうえで5団体が新規設立された。
今後の課題	【「除雪、排雪体制が整備されている」と答えた人の割合】 ・市民の雪処理マナーを改善し、協働による除排雪の仕組みづくりが確立されていない。 【流雪溝利用組合数】 ・地域の合意形成に時間を要するため、目標値を設定しているものの難しい状況にある。時間を要する理由として、組織運営に関する担い手不足や、地域全体で取り組むという意識が希薄していること。また、高齢化も背景にある。
課題解決の方向性	【「除雪、排雪体制が整備されている」と答えた人の割合】 ・市民の雪処理マナーを周知徹底し、快適な冬の暮らしを実現すべき。 【流雪溝利用組合数】 ・相手方と話し合いを進めていき理解を得られるよう取り組む。 ・流雪溝施設の構造的な問題、水量の問題も進捗に影響している部分もあるため、市で改善できることを進めていく。

施策②：雪と暮らすライフスタイルの推進

〈基本方針〉 克雪対策を推進する一方で、雪に親しみ、雪を活用する取組により雪国の良さを再認識し、地域の活性化につなげていきます。

〈取組み〉 ○県との連携を含めた雪を活かしたイベント等の充実
○雪国ならではの暮らしの伝承

現時点までの成果	<p>【「利雪・親雪活動がはかられている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策の成果として、横ばいから低下傾向にある。 <p>【新庄雪まつり来場者（延べ数）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から会場を移したことで他イベントとの相乗効果が生まれ誘客拡大が効果として現れた。 <p>【市民スキー場の年間利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られたシーズンであるが、冬期間における貴重なスポーツの機会を提供・継続してきている。
今後の課題	<p>【「利雪・親雪活動がはかられている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪国の良さを認識できていない。 <p>【新庄雪まつり来場者延べ人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来は地域住民向けのイベントであったが、近年は冬季観光の一大イベントとしてPRしてきた。今後は更なる観光誘導とそれに見合うような体制整備が必要。 <p>【市民スキー場の年間利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに合ったスキー場を運営（日数・時間、付属施設、行事等ソフト面での充実など）する必要がある。
課題解決の方向性	<p>【「利雪・親雪活動がはかられている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪国を楽しむ工夫やイベント等の充実を図る。 <p>【新庄雪まつり来場者延べ人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までのイベント内容を刷新し、更なる充実を図る。 <p>【市民スキー場の年間利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付属施設も含め、年間を通したスキー場の利活用についての検討が必要である。

基本目標 2 誰もが健康に長生きできる社会を目指す

施策①：健康づくりの推進

〈基本方針〉 市民の健康づくりを推進するため、各種健康診査の受診と保健指導の利用を促し、心の健康づくりや疾病予防等に対する市民意識の向上に取り組みます。
さらに、市民が健康でいきいきとした生活を送るための支援を行います。

〈取組み〉 ○各種健康診断の受診率向上
○食生活改善に対する意識啓発の充実
○健康づくりやスポーツイベント等への参加促進

<p>現時点までの成果</p>	<p>【「健康管理、健康づくりが促進されている」と答えた割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値に達していないが、個別の受診勧奨により着実に受診率は向上している。 <p>【特定検診受診率の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値には達していないが、受診勧奨より受診率は向上している。 <p>【がん検診受診率】</p> <p>①胃がん（H30：30.5%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診率はほぼ横ばいの状態。 <p>②大腸がん（H30：44.8%） ③肺がん（H30：46.9%）</p> <p>④乳がん（H30：66.8%） ⑤子宮がん（H30：51.9%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標値には達していないが、受診勧奨により受診率は向上している。 <p>【新規透析導入患者数（年間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度間でばらつきはあるものの、現状では目標値との隔たりがある。 <p>【市民参加型スポーツイベント参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各スポーツ団体との連携により、様々なスポーツの機会が提供され、スポーツに親しむ市民の数はある程度維持できている。
<p>今後の課題</p>	<p>【「健康管理、健康づくりが促進されている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりや疾病予防に対する市民意識の醸成が必要である。 <p>【特定検診受診率の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若年層と治療中の対象者の受診が少ない。 <p>【がん検診受診率（40～74歳）】</p> <p>①胃がん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バリウム検査から医療機関での内視鏡検査への移行による受診者の減少が考えられる。新規受診者の掘り起こしが課題。 <p>②大腸がん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他健（検）診通知を活用しての、受診勧奨は有効。 <p>③肺がん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・65歳以上の未受診者への再勧奨の検討が必要。 <p>④乳がん⑤子宮がん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団検診日が受診者の希望に合うよう十分には確保できない。 ・個別検診の受診拡大に向けた検討が必要。 <p>【新規透析導入患者数（年間）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な原因疾患である糖尿病の要医療者を確実に医療につなぐ必要がある。 <p>【市民参加型スポーツイベント参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連携する関係団体構成員の高齢化や事業のマンネリ化がみられる。

課題解決の方向性	<p>【「健康管理、健康づくりが促進されている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康診断への受診勧奨や健康づくりへの参加促進を図る。 <p>【特定検診受診率の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 未受診者への個別勧奨を継続する。次年度以降の健診日程の確保等、受診環境の整備を図る。 <p>【がん検診受診率（40~74歳）】</p> <p>①胃がん ②大腸がん ③肺がん ④乳がん ⑤子宮がん</p> <ul style="list-style-type: none"> 事前連絡により、検診申込者の確実な受診を促す。 検診料金自己負担額軽減を検討する。 <p>【新規透析導入患者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 糖尿病等要医療者の受診勧奨と継続した保健指導を強化する。 <p>【市民参加型スポーツイベント参加者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携する関係団体が活性化するための支援に取り組む。 市民のスポーツ実施率の向上のため、各スポーツ団体との連携を密にし、スポーツの機会の提供に取り組む。
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

施策②：医療体制の充実

〈基本方針〉 特定の医療機関への負担が集中しないよう、一次医療・二次医療という医療機関の役割分担について周知し、かかりつけ医の普及・定着を推進します。

また、医療機関の連携強化を図り、市民が安心して医療を受けられる体制の整備を進めます。

〈取組み〉 ○救急救命体制の強化等による地域医療体制の充実

○かかりつけ医の普及・定着

○医療従事者の確保

現時点までの成果	<p>【「地域医療に安心感を持っている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施策の成果として、上昇傾向にある。
今後の課題	<p>【「地域医療に安心感を持っている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安定的に医療を受けられる体制を維持していく必要がある。
課題解決の方向性	<p>【「地域医療に安心感を持っている」と答えた人の割合】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続的に医療機関との連携強化を図る。

基本目標3 市民が豊かさを感じ、安心して住み続けられる地域づくりをおこなう

施策①：地域コミュニティの充実

〈基本方針〉 活力ある地域づくりを推進するため、活動の中心となるリーダーの育成や世代間交流を通じた担い手作りなどを進め、地域の諸課題の解決を目指します。

〈取組み〉 ○協働によるまちづくりの推進

○女性消防団や自主防災組織の育成

現時点までの成果	<p>【地域づくり協議会設立数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の意識醸成が伴っていないため、協議会設立に繋がっていない。 <p>【自主防災組織率の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織率は年々上がっているものの目標とする県平均までは届かない。
今後の課題	<p>【地域づくり協議会設立数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域づくりの担い手不足。 <p>【自主防災組織率の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未設置地区の防災意識がまだ低いことと地域コミュニティの衰退により地縁的なつながりや共通の価値観が希薄化している。
課題解決の方向性	<p>【地域づくり協議会設立数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題を把握するため、研修会を実施し、地域の課題解決に向けた仕組みづくりを目指す。 ・地域課題を把握し、課題解決のために地域住民の意識醸成を向上させる必要がある。 <p>【自主防災組織率の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置意向のある地区へ設置に向けて地区の実情に合わせた個別の支援を実施する。

施策②：広域連携の推進

〈基本方針〉 県や近隣市町村とともに、連携、協力できる事業の推進を図り、効率的で効果的な行政運営を行います。

また「新庄最上定住自立圏」において、今後も地域が必要な都市機能および生活機能を確保し、圏域住民が安心して暮らすことができるよう、最上地域8市町村での連携を推進します。

〈取組み〉 ○定住自立圏での取組を中心とした広域連携の促進

現時点までの成果	<p>【「新庄最上定住自立圏」での協定項目における実施事業数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協定を結んだ事業については特に問題もなく実施できている。
今後の課題	<p>【「新庄最上定住自立圏」での協定項目における実施事業数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、高齢化の進行により、各市町村が抱える問題が多種多様化してくる。
課題解決の方向性	<p>【「新庄最上定住自立圏」での協定項目における実施事業数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各市町村間での情報共有や意見交換を継続的に実施し、社会情勢に対応し、効率的で効果的に展開できる事業を選定し、最上地域の連携を図る。

新庄市総合戦略 達成度一覧

目標指標達成度判定の基準について
 ◎…直近の実績値が目標値の100%以上
 ○…直近の実績値が目標値の70%以上100%未満
 △…直近の実績値が目標値の50%以上70%未満
 ×…直近の実績値が目標値の50%未満

I. ふるさと定住促進プラン

＜基本目標1＞あらゆる分野で、魅力ある「しごと」を創出する

具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	目標 (H31)	達成率	目標指標達成度判定	主管部署	出典
数値目標									
新規就業者数 (年間)	857	784	708	696	1,110	62.70%	△	商工観光課	商工観光課調べ
(内訳)									
・若年(35歳未満)の新規就職者数 150人増	734	673	598	603	950	63.47%	△	商工観光課	商工観光課調べ
・高卒の新規就職者数 30人増	108	97	95	86	130	66.15%	△	〃	〃
・新規起業数 10人増	7	10	9	5	13	38.46%	×	〃	〃
・新規就農者数 10人増	8	12	20	26	17	152.94%	◎	農林課	県農業技術普及課調べ

施策	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	目標 (H31)	達成率	目標指標達成度判定	主管部署	出典
①企業の誘致と支援									
工業団地における操業企業数	57	57	59	59	67	88.06%	○	商工観光課	商工観光課調べ
工業団地における従業員数(正社員数)	2,140	2,135	2,125	2,238	2,300	97.30%	○	〃	〃
製造品出荷額(億円)	500	552	599	-	600	99.83%	○	〃	工業統計調査
②産業振興									
市振興作物(9品目)の販売額(億円)	7.58	7.78	8.25	9.04	8	113.00%	◎	農林課	JA全農山形調べ
産直・加工販売団体数	37	35	37	38	50	76.00%	○	〃	〃
卸・小売業の従業者数	3,258	3,676	-	-	3,200	114.88%	◎	商工観光課	経済センサス
③人材育成									
新規就農者数	8	12	20	26	30	86.67%	○	農林課	県農業技術普及課調べ
④就労支援									
新規高卒就職者のうち地元(新庄・最上)に就職した者の割合(%)	5.24	5.24	47.9	52.4	60	87.33%	○	商工観光課	進路状況調査
正社員の新規求人数(年間)	2,933	3,249	3,091	3,371	3,000	112.37%	◎	〃	新庄公共職業安定所調べ
商業地域の空き店舗への出店件数(5年累計)	7	12	16	19	10	190.00%	◎	〃	商工観光課調べ

＜基本目標2＞ふるさとへの誇りを育むとともに、魅力を発信する

具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	目標 (H31)	達成率	目標指標達成度判定	主管部署	出典
数値目標									
社会移動の差の減少【社会的移動人口調査による1年間(10月～9月)】	-296	-203	-135	▲178	0		×	市民課	
(内訳)									
・転入者数	1,132	1,234	1,168	1,139	1,192			市民課	住民基本台帳
・転出者数	1,428	1,437	1,303	1,317	1,402			〃	〃

施策	実績 (H27)	実績 (H28)	実績 (H29)	実績 (H30)	目標 (H31)	達成率	目標指標達成度判定	主管部署	出典
①郷土愛の育成									
「地域に愛着を持っている」と答えた人の割合(%)	74.3	76.0	78.1	75.6	83.0	91.08%	○	総合政策課	市民アンケート
「地域の行事に参加している」と答えた人の割合(%)	75.6	76.1	76.3	78.6	80.0	98.25%	○	学校教育課	全国学力・学習状況調査(小6・中3対象)
②ふるさと回帰の促進									
相談や支援事業を通じてUJターンした人(5年間累計)	0	0	0	0	30	0%	×	総合政策課	総合政策課調べ

③交流の促進							
年間観光客数(万人)	227	231	230	216	280	77.14%	○
新庄まつり観光客数(万人)	51	51	55	49	100	49.00%	×
ふるさと応援隊会員数	2,192	4,249	5,384	5,416	2,000	270.80%	◎
市内への外国人旅行者数(人)	883	1,737	2,586	3,696	1,000	369.60%	◎

商工観光課	山形県観光客数調査
〃	商工観光課調べ
〃	〃
〃	〃

《基本目標3》社会全体で結婚・出産・育児・教育を応援し、未来の「しんじょう人」を生み育む

具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)	実績(H27)	実績(H28)	実績(H29)	実績(H30)	目標(H31)	達成率	目標指標達成度判定	主管部署	出典
年間出生数の増加	260	265	216	233	330	70.61%	○	健康課	人口動態調査
合計特殊出生率の向上	1.60	1.52	1.36		2.07	0.00%	△	〃	〃
婚姻数の増加	145	146	140		200	0.00%	○	〃	〃

健康課	人口動態調査
〃	〃
〃	〃

施策	実績(H27)	実績(H28)	実績(H29)	実績(H30)	目標(H31)	達成率	目標指標達成度判定	主管部署	出典
①働き方、子育て方改革									
「山形生き生き子育て応援企業総合支援事業」における									
①優秀(ダイヤモンド)企業認定数	0	2	5	9	3	300.00%	◎	総合政策課	総合政策課調べ
②実践(ゴールド)企業認定数	4	9	6	5	10	50.00%	△	〃	〃
「子育てしながら働くことができる環境が整備されている」と答えた割合(%)	17.5	14.3	19.3	17.3	30	57.67%	△	〃	市民アンケート
②安心して子どもを産み育むことができる環境の整備									
「わらすこ広場」の年間利用者のうち、市民の利用数	33,342	33,045	25,772	21,545	40,000	53.86%	△	子育て推進課	子育て推進課調べ
「学校教育が充実している」と答えた割合(%)	35.5	33.3	33.7	30.2	50	60.40%	△	学校教育課	市民アンケート
「子育ての相談、支援体制が充実している」と答えた割合(%)	13.7	15.1	13.7	15	25	60.00%	△	総合政策課	〃
③結婚活動支援									
イベントにおける年間カップル成立数	24	21	12	6	30	20.00%	×	総合政策課	総合政策課調べ
結婚活動支援事業に取り組む市民団体数 累計増加数	0	0	0	0	5	0.00%	×	〃	〃
④結婚や子育てに対するプラスイメージの醸成									
将来の理想とする子どもの数	2.52	2.54	2.51	2.50	2.46	101.63%	◎	総合政策課	県政アンケート

総合政策課	総合政策課調べ
〃	〃
〃	市民アンケート
子育て推進課	子育て推進課調べ
学校教育課	市民アンケート
総合政策課	〃
総合政策課	総合政策課調べ
〃	〃
総合政策課	県政アンケート

II. 幸せと元気のまちづくり推進プラン

《基本目標1》雪に対する不安を払拭するとともに、雪と共に暮らすまちをつくる

具体的な施策と重要業績評価指標(KPI)	実績(H27)	実績(H28)	実績(H29)	実績(H30)	目標(H31)	達成率	目標指標達成度判定	主管部署	出典
市民アンケート回答者のうち、『雪』を理由に「他市町村へ転居したい・転居する予定」と答えた人の割合(%)	13.2	11.4	9.0	13.9	5.0			総合政策課	市民アンケート

総合政策課	市民アンケート
-------	---------

施策	実績(H27)	実績(H28)	実績(H29)	実績(H30)	目標(H31)	達成率	目標指標達成度判定	主管部署	出典
①冬期間の市民生活の確保									
「除雪、排雪体制が整備されている」と答えた人の割合(%)	31.4	29.4	35.9	33.9	35.0	96.9%	○	総合政策課	市民アンケート
流雪溝利用組合数	6	6	10	11	18	61.1%	△	都市整備課	都市整備課調べ
②雪と暮らすライフスタイルの推進									
「利雪・親雪活動の取組みが行われている」と答えた人の割合(%)	14.4	12.1	15.0	11.5	30	38.3%	×	総合政策課	市民アンケート
新庄雪まつり来場者延べ人数(万人)	6	6	10	10	10	100.0%	◎	商工観光課	主催者より
市民スキー場の年間利用者数(人)	10,632	9,642	9,857	9,930	15,000	66.2%	△	社会教育課	社会教育課調べ

総合政策課	市民アンケート
都市整備課	都市整備課調べ
総合政策課	市民アンケート
商工観光課	主催者より
社会教育課	社会教育課調べ

「基本目標2」誰もが健康に長生きできる社会を目指す

具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)	実績	実績	実績	実績	目標	達成率	目標指標 達成度判定	主管部署	出典
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)				
数値目標									
65歳以上の介護認定率 (%)	18.5	18.5	18.4	17.7	15.0			成人福祉課	成人福祉課調べ

施策	実績	実績	実績	実績	目標	達成率	目標指標 達成度判定	主管部署	出典
(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)					
①健康づくりの推進									
「健康管理、健康づくりが促進されている」と答えた人の割合 (%)	25.4	21.6	25.6	25.5	40.0	63.8%	△	総合政策課	市民アンケート
特定検診受診率の向上 (%) ※法定報告	36.7	41.8	44.5	46.5	60.0	77.5%	○	健康課	健康課調べ
がん検診受診率 (40～74歳) ※ (40～69 子宮頸がん20～69)								〃	〃
①胃がん (%)	31.0	29.7	30.2	30.5	50.0	61.0%	△	〃	〃
②大腸がん (%)	43.7	41	42.7	44.8	50.0	89.6%	○	〃	〃
③肺がん (%)	42.7	43.1	45.2	46.9	50.0	93.8%	○	〃	〃
④乳がん (%)	62.3	59.7	64	66.8	70.0	95.4%	○	〃	〃
⑤子宮がん (%)	47	45.3	48.3	51.9	60.0	86.5%	○	〃	〃
新規透析導入患者数 (年間)	9	11	15	17	10	170.0%	×	〃	〃
市民参加型スポーツイベント参加者数	3,114	3,112	2,552	2,727	4,300	63.4%	△	社会教育課	社会教育課調べ
②医療体制の充実									
「地域医療に安心感を持っている」と答えた人の割合 (%)	38.5	38.9	41.6	43.4	45.0	96.4%	○	総合政策課	市民アンケート

「基本目標3」市民が豊かさを感じ、安心して住み続けられる地域づくりをおこなう

具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)	実績	実績	実績	実績	目標	達成率	目標指標 達成度判定	主管部署	出典
	(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)				
数値目標									
市民アンケートで「地域を支える人材が育成されている」と答えた人の割合 (%)	11.5	9.4	11.4	11.3	30	37.7%	×	総合政策課	市民アンケート

施策	実績	実績	実績	実績	目標	達成率	目標指標 達成度判定	主管部署	出典
(H27)	(H28)	(H29)	(H30)	(H31)					
①地域コミュニティの充実									
地域づくり協議会設立数	0	0	0	0	5	0.0%	×	総合政策課	総合政策課調べ
自主防災組織率の向上	38.5	45.1	54.9	57.1	85.3	66.9%	△	環境課	環境課調べ
②広域連携の推進									
「新庄最上定住自立圏」での協定項目における実施事業数	0	25	26	25	24	104.2%	◎	総合政策課	総合政策課調べ